

急ぎ過ぎだよ 人類は。
ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
逢いてエ

雑報 縄文

いろいろ考えがあふく面白い
いろいろな人がいるのが楽しい

No. 539

2020年 4月

編集・発行 鈴木厚正

〒266-0005 千葉県緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917

も・く・じ

- あの山の向こうに ⑨⑨ 2
- 「百姓の系譜」ほか 4
- 方便りから 7
- 山仕事(3月、大平・海場) 21
- 花嫁街道「烏場山」 24
- 斑尾高系スカー 25
- け・い・じ・ばん 26

第二次大戦以降

いまほど世界中の目が
一つのこと集中した
ことはない。

この機に、
人間同士が相争う
愚かさから脱脚する
道を考えよう。

森友問題
再調査を！
財務局職員
の無念を思え。



この見本誌をみて新1

「読んでみようか」という方は、

2019年3月までの 250円を

郵便局で 00100-2-20630

「雑報友の会」

へ 併い込んで下さい。

3月25日現在の
会員数 248名

題 字 故 佐村隆英和尚 (千葉県長柄町本光寺住職)
カ ッ ト : 泉ゆきをさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※この号の切手は、

GREETINGS

- ◆ 厚正さん、恒例の「お茶摘みパーティ」の案内状ができました。新型コロナウイルスについての添え書きも作成しました。開催について御意見をいただけると嬉しいです。 鈴木正士さん ※案内(部分)は、下段に。

正士さん、案内状が届きました。おもしろいところですね。

ぼくの新型コロナウイルスの印象は、感染初期、無症状でも感染力をもつ姿で、容易ならぬ相手と想います。世界中に広がる「パンデミック」は避けられぬでしょう。

半面、昔のペストやスペイン風邪、近年のSARSやMERSほど致死率は高くなく、ひろく感染して免疫ができれば終息すると思えます。

その間、とりわけ重症者、高いリスクをもつ人々(高齢、糖尿等)には、重篤な治療態勢をとる必要があると思えます。また、日常の生活を考えると、全員が家にとじこもるのは不可能です。そのため、自ら罹患することは慎重に防ぎながら、あるていど外に出ることはやむを得ないと思えます。

従って、ぼくの行動指針は、No. 538 掲示板に記したように、「おすすりはしません。といて中止するつもりはありません」です。

お茶摘みパーティに備えて、猫の手クラブは予定通り4月23~26日に伺います。

但し、トランプさんが「非常事態」を宣言したので、安倍さんも手にしたばかりの「緊急事態宣言」をする可能性があります。そうした予期しない事態に備えて、参加表明は、「一週間前までに」ではなく、「極力早く」とりまどめられるよう、おすすります。

3月14日 厚正

趣味の農業 お茶摘みへのお誘い (前文は割愛)

記

- ◎ 2020年4月25日(土) 集合9:00 我が家大平山荘 雨天でも開催します。
- 9:30~ 昼食用の山菜狩り。 我が家のワラビ園
- 10:30~ お茶摘み。 我が家の茶園(30分程度)
- 10:30~ 一杯飲みながらみんなで昼食の準備。(ソバ打ち・餅つき・釜炒茶他) 我が家。
- 12:00~ 交流会 地酒(花の舞)とビールで自然をまるごと食べる。我が家の前の林。
- 14:00~ みんなでかたづけ。
- 14:30~ 食後は趣味のコンサート。今年は縄巻修巳さんの尺八でお楽しみいただきます。春のひと時、尺八の音色をじっくりご堪能ください。
- 16:00 流れ解散。お時間の許される皆様は残り物で2次会。
- ◎ 会費 昼食、飲み物、コンサート、お土産茶、込みこみセットで、4,000円/人 (小学生以下のお子様は無料)
- お土産 鈴木正士のこだわり煎茶100g[?]、それにワラビ、タケノコ等採っただけ。(お土産のお茶は後ほどお送りさせていただきます。)

連絡先 〒438-0103 磐田市大平311 Tel・Fax 0539-62-3428 携帯090-8964-9101 鈴木正士まで
鈴木正士のホームページ <http://www4.tokai.or.jp/smasashi/> 鈴木正士で検索できます。

山仕事(3月、大平・薄場)

3月2日(月)。伊藤康江さんは友人の告別式で不参加、落合さんが久しぶりの参加で原田、山崎さんと4名、天浜線敷地駅で、正士、久米さんに迎えられる。家を出るときは小雨だったが、着く頃には雲の切れめも見えてきた。

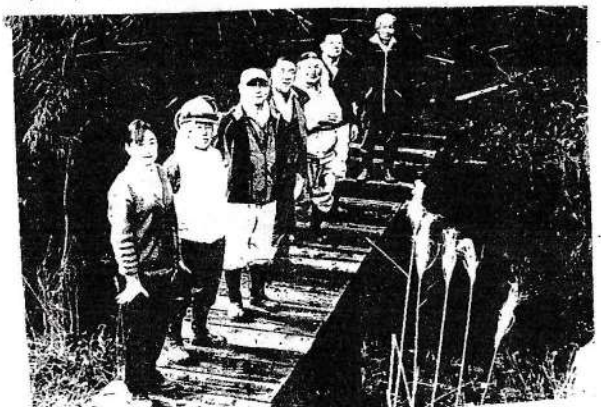
この日は、茶園に油かすをまく。20kgの袋を小脇にかかえてまいて歩くのは、少しきつくなった。竹中さんも加わりまいた後を正士さんが手押し耕耘機でたがやす。そのあと今度はレーキ(鉄製の熊手)でならしていく。



康江さん不在で久米さんと英ちゃんが調べてくれた夕食は、久米さんと竹中さんが育てた原木シイタケの炭火焼き、豚肉とセロリのニンニク醤油(山椒も入る)炒め、セロリと新タマネギとブロッコリのサラダ、メサバ、菜花の柚子コショウ和え、アサリの酒蒸し、ジャガイモとアサリのミルク煮、餃子、キュウリのぬか漬けに正士さんの手打ちソバを久米さんのだしにかえして。竹中さんから清酒四升十川をいただく。この夜もお母さんと一緒に、食後は大合唱。久米さんが、お母さん向けに古い歌を選んでくれました。

3月3日(火)、晴。伊藤恵一郎さんが加わり、朝から森所薄場(土地の人は「うすんば」と呼ぶ)へ。ここには、久米さんの住居と竹中さんの週末用の家がある。

まず、昨年お手伝いした橋の渡り初め。去年は、橋桁を渡すまでだったが、その後、竹中さんが小型の帯鋸を購入、スギの丸太を板に挽き、防腐剤を塗り、ステンレスのスクルー釘(当てずっぽ)で打ちつけて完成されていた。竹中さんが塩を盛り、お神酒を注ぎ、箸で持礼。手すりはないが、渡るのに不安はない。



その橋を渡って100mほど登った神社へ。以前は参道だったらしいが、イノシシが荒らし、枯れ竹やスギの倒木が横たわり、今では通る人が無くなっていった。上がってみると、小ぶりだが銅製の「一之鳥居」があった。その上にもう一つ鳥居があり、崩れかけた石段をよけて登ると小さな神社があった。

神社にまつられているのは、菅田別命(ほむだわけのみこと)と菅原道真公。ほくの住む菅田村(いまは千葉市)の八幡神社にも同じ菅田別命がまつられており、思いがけぬご縁を感じた。

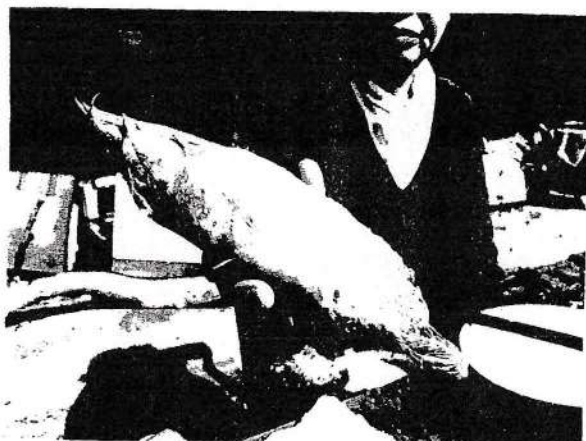
後刻、集落の入り口にある掲示板には、薄場のいわれが記されていた。太皇太后に流された道真公に従った家臣は三人。彼等が太皇太后に縛られるのは気の毒と、三人を召し放した。そのうちの薄場某が太皇太后に似ていると住みついたのが始まりだという。

午前中は、橋から神社へ至る道の整備。枯れ竹を除き、倒木3本を始末し、崩れた斜面に土留めをし、段々をつくる。細い水流の中にワサビが生えていた。



久米さんの中庭にテーブルをしつらえ、昼食。ひなの節供とあってまんなかにはカニの散らし寿司、菜花のからし和え、蒸しどりのサラダ、切干し大根とサバ缶煮、みそ汁、イテゴ。それに、作業みつけた1本のタケノコ。奇蹟的にイノシシの目を逃れたのは、神社の功德か。竹中さんが火をおこし、焼いたのを皆で少しずついただく。

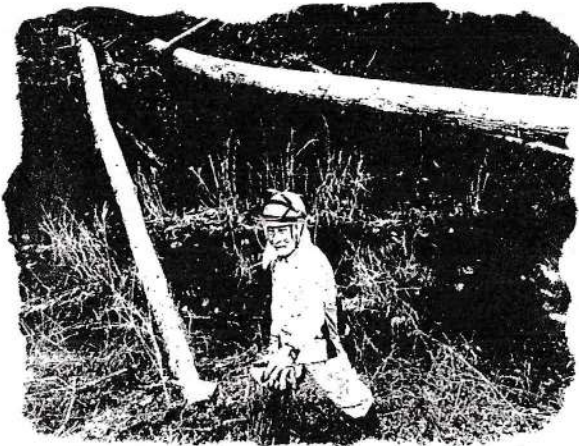
ご馬車までたべ、ビールのみ。あたたかな日ざしに眠気がさす。花に囲まれた軽トラックの座席で、しばし目をこらさず。



昼食後、近くに春リンドウの群落があるというので見に行く。100メートルほど離れたお堂の境内一面に、星を散りばめたように小さくうすい青の花が咲いていた。誰かが、その中に白い花をみつけた。(右の写真、白い花の下に青い花があるのだが、印刷ではわからず、残念) ほかにも、ピンクの花もあった。薄場には、このように量が自然が残っていて、久米さん竹中さんなどが存心としている。



午後も作業を続け、ほとんど参道が完成した。残る時間で川を横切るスギの倒木3本を整理。ふと組は、川岸の枯れ竹の整理にかかると。倒木は、太いのが直径40cmほど。浅い流れに板を渡し運び易い長さに切断して上に上げる。元に近いところは板に挽くとあって、長めに切る。すると重くて持ち上がらない。全員でロープをかり、トビロ^ゴで引っ張り、ようやく引き上げることができた。↓これを右側の岸に上げる。



17時、作業を終え正士さんちへ戻り、順にシャワーを使う。その間に久米さんと英ちゃんが台前に入り、調理。竹中さんはお嬢さんと先に横須賀へ戻る。



この夜もお母さんと賑やかに夕食。時間がなかつたのにもかかわらず、寄せ鍋、ホウレンソウと竹輪(紀文)と春菊のゴマ和え、レンコンのみんぞら、ジャガイモとシーチキン炒めにおソバ。

食後は、英ちゃんのケーナで大合唱。ふたんはポツンと一人、コタツでテレビをみていたお母さんが、みんなと歌うようになって、よかった。

3月4日(水)も。正士さんが茶園を耕やしている間、庭のコンラを1本伐る。枝の整理をした上で茶園へ行き、レーキで均す。

昼、定番のカレーに長芋のステーキフキみそのせ。

正士さん久米さんに見送られ、帰途につく。

(「鈴木正士のホームページ」には、鮮明な写真がのっているのでみて下さい。)

- ローカル線にのろう、
- 東北・福島へ行く、
- なるべく平日に。



山中圭子さん
(ザ・シニアジャパン)

◆ 野川を歩く ◆

葉桜でも
いいじゃないか。

- 3月28日(土)。10時、JR中央線「国分寺」駅集・発。(雨なら翌29日)
只今、山崎、高橋、伊藤(康)+友人、内田(美)、藤田(肖)、加瀬 さんとぼく。

◆ 上野三碑 ◆

- 4月1日(木)、小雨決行。只今、高橋、山崎さんとぼく。
上野 7:23 — 9:10 高崎。上信電鉄とシャトルバス利用。

◆ 京丸山 ◆

- 4月3(金)~5日。正士さん宅に泊まり、中日(4日)日帰り。会員3千円。

◆ 大野山 ◆

- 4月8日(水)、雨天、またいつの日か。
東京 7:42 — 9:00 国府津 9:10 — 9:40 谷城 ^{ごんぼ線} ^{やが} 登降4~5時間。
下山して山北駅そばの入浴施設へ。山北 15:15 にのれるといいね。

◆ 三浦ハイク「くりはま花の国」 ◆ 雨なら、翌13日(月)。

- 4月12日(日)、10:30 京急「長沢」駅。かつう切符で。弁当又は小昼持参。

◆ 山仕事を楽しむ会 ◆

- ① 4月23(木)~26日 ④ 7月8(水)~10日
- ② 5月21(木)~23日 ⑤ 8月10(月)~12日
- ③ 6月9(水)~11日 ※ 4月のみ、5,000円。

正士が
交通費弁
会費3000円



安東明子さん

◆ 九十九里浜歩き ◆

- 6月1(月)、2日。只今、山崎、高橋、原田、加瀬、阿部さんとぼく。

◆ 群馬県境尾根トレイル① ◆

5月25(月)~27日。
谷川岳~蓬峠~白毛門

甘夏

(ぼくが、山D農園へ)
TEL 0996-82-1221

4/10 松戸ホープン(テニス)
5/1 Xデー
15、16 テニス合宿(軽井沢)
20 竜ヶ岳
(千葉中央バス)